

# IMF サーベイ

IMF-世銀 年次総会

## 世界が即時に行動するならば、 連携は効力を発揮—ラガルド氏

IMF サーベイ・オンライン

2011年9月23日



ラガルド専務理事:問題は、主に経済的なものだが、解決は政治的なものだ。コミットメントと勇気が必要なのだ。(IMF 写真)

- 成長のみでは不十分—世界には雇用を支える成長が必要
- 主に先進国に世界危機対応の責任がある
- 新興市場国および途上国、健全な政策努力が報われる

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は、ワシントン DC で行われている 2011 年 IMF・世界銀行年次総会の開会式で演説を行った。この中で専務理事は、各国が協調しかつ迅速に行動するならば、世界は、直面している世界経済への信認危機を解決し、回復軌道に回帰することができると述べるとともに、脆弱かつ不均衡な回復のなかりリスクが急上昇していると指摘した。

ラガルド氏は基調演説の中で「包括的で雇用を生み出す成長こそが、我々の目標でなければならない。しかし今日、成長のための戦いに敗れる危険性がある」と述べた。「欧州には暗雲が立ち込め、米国は高い不確実性のなかにあるなど、世界の需要の崩壊の危険性がある」

同氏は、年次総会の公式オープニングで演説を行った。[年次総会](#)では様々なイベントが開かれ、政策立案者、民間部門および市民社会の代表、報道陣、学界関係者など、約 10,000 人が参加する。また、経済界のリーダーが、世界が直面している主な問題への、各国の協働を基盤にした解決策を検証する機会でもある。

年次総会の前には、IMF の[最新の世界経済見通し](#)、[世界の金融市場](#)に関する報告書、および[世界の財政政策](#)のレビューの発表が行われた。また、公式オープニングの前には、IMF 本部ビルで[世界経済に関するディベート](#)も行われ、その様子は、英国放送協会 (BBC) により全世界にテレビ放送された。

年次総会に先立ち、先進並びに新興市場国・地域からなる 20 ヶ国グループ (G20) がコミュニケを発表している。この中で G20 は「必要な場合に銀行システムと金融市場の安定を保つために必要な全ての行動を採ること」にコミットした。また、銀行が現在のリスクに対応するために、十分な資本および資金へのアクセスを有する

ことを確保すると公約した。さらに同声明は「中央銀行は引き続き、必要な場合に銀行に流動性を供給する準備がある。金融政策は、物価の安定を維持し、引き続き経済回復を支える」とした。

### 選択の時

ラガルド氏は、この度の年次総会は、重要な局面で開催されると述べた。「我々が、本日、数週間、数ヶ月先に行う選択が、我々の経済全体の命運、すわなち、前進か後退か、を左右することになる」

同氏は、新興市場および途上国は、健全な政策を選択した結果より良い軌道にあると述べた一方で、グローバル・サウスはグローバル・ノースのつまずきの影響を受けないことはない指摘した。

また「ここで率直に言わせていただくならば、現在の危機に立ち向かう責任は、主に先進国が負うべきだ」と述べた。

ラガルド専務理事は、先進国の喫緊の課題3点を示した。

- **財政政策**は、信頼性の喪失と成長の弱化の間で適切にバランスを取らなければならない。先進各国は、財政再建が必要であり、これを最優先課題とすべきだ。しかし、一部の国では、あまりにも性急な再建は成長と雇用の足かせとなる。ペースは、過度に遅くても性急すぎてもいけない。インフレ期待が総じて十分に安定しているならば、金融政策は、引き続き緩和的であるべきだ。中央銀行は、再び必要に応じて大胆な措置を取る準備がなければならず、実際、一部の中央銀行がここ数日でそのような選択をした。

- **金融部門に対する政策**には、銀行が貸付けを行い成長を後押しするとともに、自信をもって、適切にこの不透明な時代に立ち向かうことが出来るよう、銀行のバランスシートの強化を含める必要がある。また、金融システムをより安全かつ健全なもの、すなわち金融危機の発生の可能性を減じ、無謀な市場参加者への税金による緊急融資の可能性をさらに減ずるため、より強力で一貫した、導入が実際に可能な金融規制が必要だ。

- **構造改革**は、先進国の製品・労働市場で継続し競争力と成長を促進するとともに、サービス部門の既得権益と戦い、起業家が繁栄し、成長し価値を創造するように努めなければならない。

### 社会的側面

ラガルド専務理事は、社会的側面にも細心の注意を払わなければならないと強調した。「成長のみでは十分ではない。雇用を支える成長が必要であり、青年層を失う

ことがあってはならない。我々には、社会全体に利益をもたらす包括的な成長が必要だ。適切なソーシャル・セーフティ・ネットが必要だ」

同氏は、特に米国およびユーロ圏など世界最大の経済には、特別に果たすべき責任があると述べた。両国は既に取り組みを開始しているが、喫緊の課題としてそのスピードを加速する必要がある。米国は、中・長期的に財政赤字を削減し、失業問題に早急に対処し、過剰債務にある家計への圧力を緩和しなければならない。

「欧州は国と銀行の債務という双子の問題に、早急かつ同時に取り組まなければならない」とラガルド氏は指摘した。「危機の中心にある国々は、コミットした各種プログラムを実施しなければならない。さらに、欧州のパートナーは、コミットメントしたように、これらの国々を支援するうえで必要な、あらゆる手段を講じる必要がある」

### 究極の目的

しかし、世界経済の再調整という究極の目的の達成には、全ての国が自らの役割を果たさなければならない。

- 多くの **新興市場国**は、力強く成長している。しかし、対外黒字国は、これまで以上に内需に頼る必要がある。特にアジアは、より包括的な成長を実現するために、そして、これまで数十年間で輝かしい実績を上げてきたアジアの貧困削減の仕事を終わらせるために、このシフトが必要である。
- **低所得国**も危機の間に効力を発揮した政策バッファーを立て直し、成長および雇用創出に投資を行なうという、果たすべき役割がある。国際社会は、アフリカの角で干ばつの被害にあっている人々を含め、自らの環境の改善に取り組んでいるこれらの国々を支援しなければならない。
- **中東と北アフリカ**で、アラブの春は、この地域のあらゆる可能性を解放し、より高いより包括的な成長を実現するための、歴史的な転換を遂げる機会となる。

### IMF の役割

ラガルド氏は、各国をまとめ解決策を導きだすことが IMF の役割だと強調した。加盟国の支援の下、以下の点を通し IMF は更なる貢献をすることが可能であろう。

- **経済サーベイランス**、相互に結びついた世界を貫く脆弱性および波及効果の問題を、過去に例を見ないレベルで重視。
- **融資**、低所得国での保健や教育に対する支出の保護や拡大を可能にすることで、危機の経済的・社会的コストの緩和に貢献。
- **技術支援**、各国の国民に貢献するための能力の拡大および近代化を支援。

ラガード氏は、2011年の年次総会は、重大な局面で開催されていると述べた。「早急な判断が必要だ。本日、呼びかけている数々の行動は、数年先のためのものではない。数ヵ月先に関係していることなのだ」

「我々の問題は、主に経済的な問題だが、解決は主に政治的なものだ。コミットメントが必要なのだ。敢然と立ち向かうことが必要なのだ」